

萌希深教

題字 萌希深教 揮毫 新居浜教育会〇B 横山 泰茂 解説は3面



発行所 (公財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスポワール愛媛文教会館内
電話 (089)945-8644
FAX (089)945-1459
E-mail info@ehime-kyoukukai.jp

世代



松山市立石井東小学校
元校長 谷井 紀夫

「団塊の世代」。戦後の第一次ベビーブーム期(昭22〜24)に生まれた世代のこと。一学級50〜60人もの児童・生徒が授業を受け、常に競争にさらされてきた。経済的に貧しい時代で、高校にさえ進学できず、金の卵と呼ばれて中学卒業後すぐに集団就職する者が多かった。日本経済の底を支えてきた世代である。私はこの世代ではないが、亡き兄が国鉄松山駅から満員の列車に期待と不安を乗せて旅立った日のことを鮮明に覚えている。歌手でいえば、井上陽水や小田和正、矢沢永吉らがこの世代。今も活躍している人もたくさんいます。

私の世代は「しらけ世代」(昭25〜39年生まれ)と呼ばれ、三無主義、ノンポリが特徴らしい。ユーミンがこの世代で、「いちご白書」をもう一度」などはしらけ世代から見た団塊の世代の歌のように思える。しかし、三無主義ではない。山下達郎や桑田佳祐もこの世代だから、どの世代もそうではあるが、十把ひとからげにはできない。「バブル世代」や「氷河期世代」を経て、次によく耳にするのは「ゆとり世代」(昭和62〜平16年生まれ)。教員には説明不要か。特徴は、ストレス耐性が低い、多様性を受け入れる意識が高い、ワークライフバランスを重視する、などが挙げられている。

- (2) 学校紹介 宇和中学校
- (3) 地区教育会より(大洲市) ローカルトピックス
- (4) 特集「T H E チャレンジ」
- (5) デジタルとアナログのベストミックスに向けて
- (6) ふるさとスケッチ

続いて「Z世代」(平成8〜22年生まれ)の若い人たち。デジタルネイティブで、モノよりコトを重視し、平等性や合理性を求める傾向が強いとか。私は現在松山市内の高校へ非常勤講師として勤めている、目の前がZ世代の男性教員。柔和で教育熱心であるが、「対価を求める」と口にしたことがある。ジェネレーションギャップを実感した瞬間である。

響

▼教員の働き方改革の流れの中で、教員の残業が問題となつている。その問題を審議するため、令和6年2月には、公立学校教員の給与増に向けた議論が中央教育審議会特別部会でスタートした。今は、残業手当が支給されない替わりに、給与月額4%が「教職調整額」として、一律に支給されている▼この4%という数字は、昭和41年の勤務状況調査の結果を踏まえて、超過勤務時間相当分として算定されている。その当時の超過勤務時間は、1週間平均が、小学校1時間20分、中学校2時間30分、平均1時間48分。今は、審議の答申が待たれるところであるが、解決策として「教職調整額10%に増額」や「残業手当の支給」といった方法が提唱されている。審議の中で、更に有効な方法が提唱されるかもしれない▼もし、残業手当が支給されるようになると、児童生徒への個別の指導や教材研究などについて、どのような内容をどの程度の間をかけた行っているのかという残業の内容と質が問われることになる。今より一層厳しい目を自分に向けなければならない。もちろん持ち帰る業務は、残業に当たらない。さらに、管理職もしっかりと目線で、残業を承認し届けることが必要とされる▼残業をする側も、残業を見届ける側も、働き方改革に伴う意識改革が必要とされる時代がそこまで来ている。

一略 歴一
(たにい・りのお)
昭和50年4月 旧広田村広田小学校 教諭
平成24年3月 松山市立石井東小学校 定年退職
平成27年5月 愛媛県教育研究協議会事務局 退職
*以後、松山市内外の高等学校に勤務
令和5年1月 俳人協会愛媛県支部事務局長

ひとこと

北方領土問題教育者会議について何？



愛媛県北方領土問題教育者会議 会長 山川 博一

北方領土問題教育者会議は、現在、全ての都道府県に設置されています。愛媛県北方領土問題教育者会議は、発足から13年目を迎え、会員数は、74名です。本会は、「次代を担う青少年が北方領土について、正しい知識と関心を持ち、理解を深めるとともに、その環境整備を図る」ことを目的に掲げ、独立行政法人北方領土問題対策協会主催の各種研修会等に参加した教育者を中心として、趣旨に賛同する教職員により組織されました。これまで本会では、北方領土問題学習の教材開発や授業研究会への参加、指導者現地研修会への派遣、会報発行による啓発活動などに努めてまいりました。

現行の学習指導要領では、領土問題学習について、小学校から系統的に指導することが求められています。しかし、「領土問題学習は、社会科学の学習」とか「政治問題だからちよっと関わるのは…」と言われる方々が多いのも現状です。国を支え動かすのは、国民一人一人の力です。子どもたちにそれを教えるのは、私たち大人であり、学校では教職員です。これは、政治思想や特定の教科の問題ではなく、学校教育において教育者として担う課題です。未来の日本を支える今の子どもたちに、今の日本や世界の姿を認識させ、未来を託すためにも、私たち教職員が、この北方領土問題をはじめとする領土問題についてもしっかり認識し、正しく知って伝える責務があります。

皆様方には、3月末に各校に送付しました本会の会報に目を通していただき、ますますと、本会議の活動に更なるご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

(今治市立別宮小学校長)

学校紹介

247

全校ふるさと学習

今年度、宇和中学校では、ふるさと「宇和」で根を張って生活されている様々な先輩方との交流を積極的に行い、自分以外の他者と、良好な人間関係を築いていける生徒を育成していきたいと考え、「全校ふるさと学習」を立ち上げました。ねらいとして次の二つを掲げました。一つ目は、地域とともに輝ける宇和中生となれるように、地域の人材を活用しながら、ふるさとへの愛着や誇りを深める。二つ目は、体験を中心とする学習活動の中で、生徒が主体的にイベントを企画したり、運営したりする発想力や自治力を養うことです。

その具体的な学習内容として、「地域とコラボレーションしたイベント開催」に向けて、企画、準備、運営等、マネジメン



西予市立宇和中学校

ト能力の育成を図る取組や、ふるさとのよさを再認識し、伝統文化を継承しようとする気持ちの醸成を図る取組を計画しています。西予市の特産品を生かした商品開発も、目玉となる取組の一つです。イベント開催に向けて、2学期から、

地域講師を招いての学習が本格化していきます。生徒は、企画部、総務部、生産部、広報部の四つの部会に分かれ、イベント本番に向けた準備を地域講師の協力を得ながら進めています。商品販売における利益を考慮した適正な価格設定や仕入れ先との交渉等を通して、人間関係構築力やマネジメント力を身に付けたり、自分たちの取組を外部に発信する取組を通して、情報発信力を身に付けたりしています。

宇和中学校では初めての取組となる「ふるさと学習」ですが、地域の皆様の温かなご支援により、社会と双方向に開かれた教育課程の実現に向けて、少しずつ前進しているところです。3月のイベント当日が、今年度の取組の成果を感じることができる一日になるよう、地域と連携・協働した取組を継続していきたいと思っております。詳しくは、宇和中学校ホームページにおいて、「全校ふるさと学習特設ページ」を設けて、日々更新していきます。ご一読いただければありがたいです。

(教諭 宇都宮憲二)

題字に寄せて

萌希深教



新居浜教育会OB 横山 泰茂

4月、新年度のスタートにあたり、題字を「愛教研の歌」の2番の歌詞の中から左記のよう(幸)に選びました。

作詞 中村 勝
作曲 得居義治

二、たくましく萌ゆる若草
かぐわしき希望のつぼみ
いとおしみ深くつちかう
われら愛媛教師のまこと
学びの子らにしあわせを
しあわせを

なかなかいい歌詞とメロディーです。「教師のまこと」「幾年萌ゆる」…本号が届く頃、本会の各地区総会が開催されていると思います。教育会の一員として、現職の愛教研の先生方と同じ志で、愛媛の教育を支えていきたいものです。

地区教育会だより

大洲市教育会

かたつむりの
一步



大洲市教育会副会長 兵頭 隆治

大洲市教育会では、「大洲市教育の振興」と「文化の発展、並びに児童生徒の健全育成の推進」を活動方針に掲げ、様々な活動を行ってきました。

しかし、一昨年度までの3年間、計画した活動はコロナ禍の影響で中止や縮小等を余儀なくされました



が、昨年度は、これまで通りの充実した活動を行うことができました。特に、夏季休業中に実施をした会員研修では、現職の先生方にも郷土の歴史について少しでも知見を深めてほしいという願いを込めて、郷土の歴史に詳しい芳我明彦先生(「シリーズ藩物語」/大洲藩・新谷藩)は代表的な書籍)に、「伊能忠敬の大洲藩測量」と題して興味深いお話をしていたきました。講話の後には、現職の先生方から内容の濃いたくさんの質問もあり、とても有意義な研修となりました。また、内子教育会と合同で、徳島方面への研修旅行も実施することができ、横の連携を深めることができました。その他にも、郷土愛を育む観点から、市内の小中学校に大江健三郎さんの書籍を贈呈したり、奉仕活動や長寿・叙勲・教育功労者受賞祝賀会等々も開催したりすることができました。これからも、北村西望の「たゆまざる／歩みおそろし／かたつむり」の句の如く、かたつむりの一步を大事にする大洲市教育会でありたいと思います。

ローカル・ヒックス

三間の歴史と
人権学習

江戸時代の天明年間に全国的な大飢饉が発生しました。三間町も大凶作や流行病などで多くの死者や餓死者が出ました。それでも吉田藩は、百姓から米や大豆の厳しい取り立てをやめなかつたそうです。

三間の百姓の惨状を見かねた神主土居式部と町役の樽屋与兵衛が百姓たちを救おうと、仲間と一揆の計画を進めました。この一揆は



藩に察知され、土居式部と樽屋与兵衛は捕縛され、獄死します。しかし、6年後、遺志を継いだ百姓が決起し、農民側の大勝利に終わります。

三間町内の小中学校では、先人の「人間を大切にする心」を引き継いでいこうと、人権学習に取り組んでいます。今年は学習したことを三間小学校6年生が人権劇として発表し、地域の方にも見ていただきました。これからも、三間の先人の思いを地域の方と共に引き継いでいきます。

(愛媛文教月報編集協力委員 加賀山和宏)



特集

THEチャレンジ

THE 挑戦(チャレンジ)



小岡市立飯頭
教頭 築山 紀子

令和5年度は、私にとってまさに「挑戦」という言葉がぴったりの一年であった。まずは仕事において、初めての勤務地で初めての教頭職をスタートさせた。全てが新しい環境になったのは、数十年ぶりである。もう、挑戦しかない。地域の行事に積極的に参加し、地域の方との絆を深めること、校内での対話を大切にして、皆が仲良く、働きやすい職場にすることなど、挑戦することは山のようにある。不安も多いが、職員の皆さんの優しい声、保護者・地域の方々の温かい眼差し、そして、何よりも子どもたちの明るい笑顔が、私の挑戦を後押ししてくれる。こんなに人とのつながりの大切さとありがたさを感じたことは、かつてなかった。

なんとか器が形になった。何事も簡単ではない。自分が満足できる器を作るには、これから修行を重ねることが必要だということを実感した。仕事でも、趣味でも、私の挑戦は始まったばかりである。まだまだ未熟で、学ぶべきことが多くある。努力と忍耐が必要であるが、挑戦の先にある成長した自分を楽しみに、自分が選んだ道を、一歩ずつ進んでいきたい。

目指せ、サンティアゴ!



小岡市立亀長
校長 村上 道子

私の夫は、定年退職して3年が過ぎ、自由に自分の時間を楽しんでいます。その彼が昨年「サンティアゴ巡礼路」の旅に出ました。「サンティアゴ巡礼路」には、いろいろなルートがあるのですが、今回彼が挑戦したのは、フランスとスペインの国境近くの街から、スペインのサンティアゴまでの約780キロメートルを、時々観光も入れながら約70日かけて歩くというものです。もともと

と歩き旅が好きな彼から勧められていました。そんな過酷な旅は、自分には絶対無理だと思っていました。重いザックを背負って雨の日も山道も歩かなくてはならないのですから…。しかし、その旅の話を聞くうちに、自分も挑戦してみたいと思うようになったのです。まずは、体力をつけなさいといけません。週末時間があるときは、2、3時間をかけて歩くようにしています。標高1、200メートルのピレネー山脈も越えないといけません。これを約2年間続けています。少し体力はついたものの、私は持病の腰痛があり、これはどちらかと言えば悪化している…。これはピンチです。しかし、この旅では、重い荷物を宿から宿まで運んでもらうこともできるそうなので、いざというときにはそういう手段も使うなど、何とかかなりそんな方法も探りつつ、この旅に挑戦できるように少しずつ準備をしています。為せば成る」を信じ、頑張ります。

愛媛マラソン



小笠原市立番論
教員 伊野 健人
松山市立吉永

僕にはこれといった趣味がない。

訂正とお詫び 2月号8面に掲載の「ご冥福をお祈りします」で、「児島様」を「児島 沖様」と誤記しておりました。訂正しお詫びいたします。

事業承継・経営計画



税理士法人 和田タックスブレイン
株式会社 TKC和田経営センター

〒790-0012 代表税理士 高田 幸史
松山市湊町一丁目1番地29 社員税理士 和田 政也
TEL (089) 932-1188

一生涯のパートナー

第一生命



第一生命保険株式会社 松山支社

〒790-0002 愛媛県松山市二番町3-5-5 松山二番町第一生命ビル6F
TEL 050-3781-8600(代) 窓口受付時間 平日午前10時~午後3時

一年前、一万人を超えるランナーが走る愛媛マラソンを沿道で応援した。昔、長崎にいる祖父が、「フルマラソンの距離は42、195km、』しにいくごたる』と言っていたのを思い出した。死に行くような距離をなぜこんなにもたくさんの人が走っているのか。その答えが知りたくて、翌年、愛媛マラソンに応募した。

中学生の時、駅伝に打ち込み、高校のマラソン大会で2位になったことのある僕は、正直自信があった。練習でも10kmは楽に走れた。目標の4時間半も余裕だろうと思った。その自信が揺らぎ始めたのは、20km地点だ。足が鉄の棒のように重く、中間地点で既に絶望的にひざや足首が痛かった。一步毎に痛みが強くなり、頭の中は焦りと挫折感でいっぱいだった。息はきつくないが、ため息が出る。とにかく足が痛い。止まりたい、歩きたい。ネガティブ感情に支配された。それでも足を止めなかったのは、諦められない理由があったからだ。沿道での温かい声援、コース上で振舞われる給水・給食、後ろから迫る4時間半のペースメーカー、そして、意地。30kmを過ぎたからの記憶はあまりない。ラスト5kmは本当に死に行くようなきつさだったが、気付けばゴールしていた。「もう二度と走りたくない」。ゴール直後の率直な感想だ。今のところ次回の参加は決めていないが、次はもっと楽に走りたいと考えている自分もいる。「趣味は走る」と言える日が来るのかどうかは、僕にも分からない。ただ、チャレンジし、完走したことは自分の自信となっている。

蜂の羽音に誘われて



八幡浜教育会 副会長 関岡 寿登

5年前の定年退職後、蜂の羽音ばかり追いかけています。と言っても養蜂家になったわけではありませぬ。蜂の羽音とは「ドローン」のことです。複数のプロペラを回転させ、その推進力で飛行するドローンは、プロペラから発生する音が蜂の羽ばたき音に似ていることからドローン（蜂の羽音を表す英語）と名付けられたということです。

そもそも私がドローンにはまったのは、退職後にお世話になってい一般社団法人「コムスクえひめ」での出張授業の講師を引き受けたことが始まりでした。出張授業は、小中学校でプログラミング教育が必須となったことを受けて、ドローンの自動操縦システム機能を活用し、楽しくプログラミングを学習できる一助として構築した授

業で、多忙な現役の先生方のご負担を少しでも軽減できればと考え、依頼のあった学校で実践しています。目新しさもあり、児童生徒は目を輝かせてドローンに取り組むのですが、興味関心をかき立てられたのは児童生徒だけではありません。私も虜になりました。わずかばかりの財力にものをいわせてドローンを購入し、日々楽しんでいきます。国交省への機体登録や飛行申請など規制も多々ありますが、飛行及び撮影技能向上にいそしんでいます。おかげで出張授業以外にも公民館からのドローン教室や消防団からのドローン防災教室、各種団体からの空撮依頼などで充実した日々を送っています。

祝 受章・受賞おめでとうございます

◇瑞宝双光章（高齢者叙勲）

石田 清様 88歳 元西条市立飯岡小学校長 西条市

夕崎 壬子様 88歳 元今治市立美須賀小学校長 今治市

西川 保徳様 88歳 元宇和町立石城小学校長 西予市

◇令和5年度県政発足記念日知事表彰

新谷 和志様 68歳 元愛媛県教育会理事長 松山市

◇令和5年度教育者文部科学大臣表彰（職名等は受賞時のもの）

酒井 学様 60歳 四国中央市立三島東中学校長 四国中央市

宮岡 真司様 60歳 伊予市立郡中中学校長 伊予市

◇令和5年度文部科学大臣優秀教職員表彰（職名等は受賞時のもの）

品川 崇様 愛媛大学教育学部附属小学校教諭

金子 佳弘様 西条市立多賀小学校教諭

南條真由子様 今治市立常盤小学校主幹教諭

猪崎 誠二様 松山市立石井北小学校主幹教諭

高橋かおり様 鬼北町立近永小学校教諭

藤田 真弓様 四国中央市立川之江北中学校養護教諭

竹内 菊子様 松山市立津田中学校教諭

白石 明幸様 愛南町立御荘中学校主幹教諭

松山市立清水小学校教職員一同様

教育の振興を目指す！

教育振興事業 福祉事業 経済事業

「日教弘の3大事業」

公益財団法人 日本教育公務員弘済会愛媛支部

〒790-8545 愛媛県松山市祝谷町1-5-33 エスポワール愛媛文教会館内

TEL.(089)932-8358 FAX.(089)932-8357

「エネオス」・「コスモ石油」が1枚カード

ENEOS ご入会のおすすめ

全国のサービスステーションでご利用頂ける「エネオス」と「コスモ石油」のガソリンカード

ご利用代金は引去で便利！

お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会

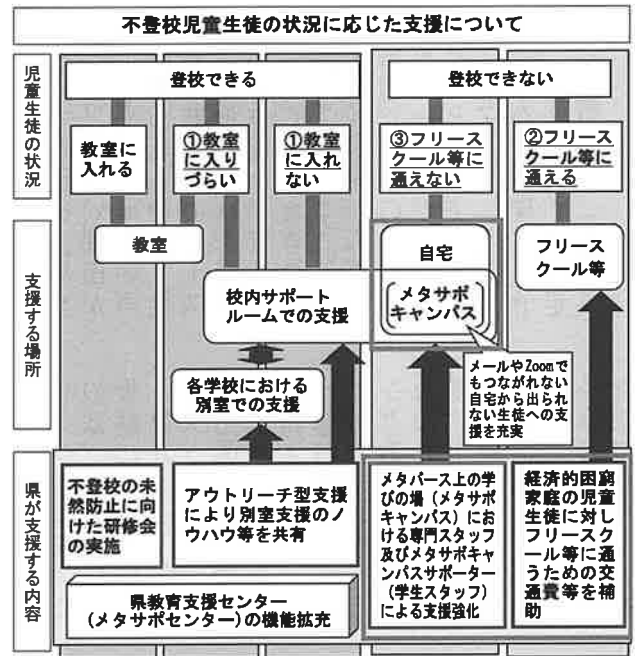
電話 (089) 925-0555

または 郡市学校生活協同組合

<http://www.ehime-gakuseikyoku.jp>

毎月更新の給油価格は、愛媛県学校生活協同HPにてご確認ください。

の設置やフリースクールへの運営費補助、フリースクール等に通う児童生徒への経済的支援など、様々な対策を講じてきました。特に、令和5年度からは、不登校児童生徒の約6割に相当し、支援が届きにくかった「③自宅から出られない児童生徒」に対して、オンライン上の仮想空間（メタバース）に設置した学びの場「メタサポキャンパス」において専門スタッフと学生ボランティアスタッフによる学習支援等を開始しています。この支援をきっかけとして、学校に復帰したり、状況が好転したりする児童生徒が見られるなど、着実に成果が現れています。今年度からは、専門スタッフの増員に加え、新たにメタサポキャンパスサポーターとして学生スタッフを10人配置し、更なる支援の充実を図っています。各学校においても、令和5年3月に文部科学省が発表したCOCOLOプランの大臣メッセージにあるように、不登校により学びにアクセスできない子供たちをゼロにすることを目指し、支援対象となる児童生徒に対して、メタサポキャンパス、教育支援センター、フリースクール等の情報を確実に提供するなど、積極的な働き掛けをお願いします。また、不登校の未然防止に向けた研修会や別室支援のノウハウ等を共有するためのアウトリーチ型支援を実施しています。これらも活用し、引き続き、不登校を生まない魅力ある学校づくりに努めていただきたいと思います。



おわりに

令和5年7月、文部科学省が「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」を公表しました。先生方の中には、授業や校務等で活用されている方もいらっしゃるのではないかと思います。生成AIは、深層学習によって構築した大規模言語モデルに基づき、「統計的にそれらしい応答」を生成するもので、自我や人格はありません。あくまでも人間が発明した道具であり、回答は誤りを含むという前提のもと、最後は自分で判断する必要があります。そのことを踏まえ、実際に生成AIを効果的に活用するには、どのようにすればよいのでしょうか。それは、指示文（プロンプト）を上手く利用することです。例えば、「あなたは中学校社会科の先生です。私に中学校2年生で学習する地理の問題を出してください。理解を深めるようにさらに問題を出してください。」と指示を出すことで、チャットGPTが単なる検索エンジンではなく、右図のような先生としての役割を果たすようになるなど、応用的な活用ができます。

今回、EILSやメタバース、生成AIなど、ICT（デジタル）の効果的な活用を中心にまとめましたが、本県では、平成24年度に、第1期学力向上推進計画をスタートし、各学校において、目標と指導と評価の一体化を目指して、ねらいを明確にした分かる授業、子供主体の考える授業、確かな見取りによる伸びる授業に取り組んできました。この伝統ある愛媛教育を基盤として、授業の中でICTを効果的に活用していくことで、デジタルとアナログのベストミックスが図られます。以前から紹介している教員用の授業改善のための10のチェックリストに合わせて、児童生徒用のチェックリストを作成し、EILSのコンテンツバンクにCBT化したリストを掲載していますので、授業改善の一助として、ぜひ御活用ください。また、GIGAスクール環境を生かした教育改革が着実に進んでいることを踏まえ、昨年度末に改訂したICT教育推進ガイドラインに基づき、教員の高いICT活用指導力を生かした取組を進めてください。今後とも、引き続き、資質・能力の育成に資する授業改善に視点を当て、これまで培われてきた愛媛の教育のよさとこれから築き上げていく適切なICTによる教育を効果的に組み合わせ、更なる学校教育の質の保証・向上を目指して、日々の授業や生徒指導に取り組んでいただきたいと思います。

KG You
あなたは中学校社会科の先生です。私に中学校2年生で学習する地理の問題を出してください。理解を深めるようにさらに問題を出してください。

ChatGPT
では、以下の地理の問題を出しますね。
1. 地球上で最も深い海溝はどこにありますか？

KG You
マリアナ海溝

ChatGPT
正解です！マリアナ海溝は地球上で最も深い海溝の一つです。マリアナ海溝は太平洋の西側に位置し、フィリピンとマリアナ諸島の間に広がっています。では、マリアナ海溝がどのように形成されたか、何が原因でそのような深い海溝ができたのかご存知ですか？

デジタルとアナログのベストミックスに向けて

愛媛県教育委員会義務教育課

ICTの効果的な活用による学力向上の推進

令和5年12月にOECDの生徒の学習到達度調査（PISA）2022の結果が発表されました。本調査は、義務教育修了段階の15歳の生徒がもっている知識や技能を、実生活の様々な場面で直面する課題にどの程度活用できるかを測ることを目的として実施されています。今回の調査で、日本は、数学、読解力、科学の3分野、全てにおいて世界トップレベルとなり、特に、読解力は過去最高の3位という好成績でした。その要因として、新型コロナウイルス感染症の影響による休校期間が他国より短く、学習機会が確保されたこと、学習指導要領を踏まえた、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が進んだこと、学校のICT環境整備により、生徒がCBTの操作に慣れたことが挙げられました。一方で、OECD平均に比べ、日本の生徒は、数学を実生活における事象と関連付けて学んだ経験が少ない、また、日本の数学の授業では、数学的思考力の育成のため、日常生活とからめた指導を行っている傾向が低いという課題も明らかになりました。

数学が実生活と結びついていないという課題を聞き、思い出されるのは、令和4年度全国学力・学習状況調査の小学校算数の問題です。「リンゴの果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたとき、果汁の割合はどうなるか」に対し、「変わらない」と正答した児童は、19.4%（全国21.6%）で、「1/2になる」と誤答した児童は、67.9%（全国67.7%）という驚くべき結果でした。児童自身が、これまでの生活を振り返り「リンゴジュースを注ぎ分けても味は変わらなかった」ということを思い返すことができれば、このような結果にはならなかったはずです。また、教員側に原因がある場合もあります。例えば、「長さが200cmの棒がある。この棒から40cmの棒を何本作ることができるか求めなさい。」という問題を出題する際、「切断する際の切りくずは考慮しない」などの条件設定の下での正答は、5本（ $200 \div 40$ ）になりますが、もし、条件設定がなければ、子供たちは戸惑い、4本と回答するかもしれません。教員は、日頃から日常生活とからめた指導を行うよう配慮し、知識が生活実感をもって習得され、活用できるようにしなければなりません。私たち教員は、予測困難な社会に子供たちを送り出す前に、たくましく生き抜く力を育成しておく必要があります。生きて働く「知識及び技能」は、子供たちが社会に出て課題に直面した時に、それを乗り越えるために必要なアイテムです。子供たちに質の高いアイテムを身に付けさせ、そのアイテムを効果的に使いこなすことができる「思考力、判断力、表現力等」を育成することが重要だと思います。

そこで県教育委員会では、各種学力調査の結果から明らかになった本県の学びの課題の一つである、読解力及び知識を活用する力の育成を目指し、今年度、新聞記事を基にした読み物資料100教材をCBT化してEILSコンテンツバンクを増強するほか、紙テストを自動採点できるPBTシステムを試験導入するなど、ICTの効果的な活用による更なる個別最適な学びの充実と教員の負担軽減を図るための環境整備を行います。また、指導力の高いエキスパート・ティーチャーによる授業研究会を開催し、具体的な授業改善方策の共有と横展開を計画しています。特に、新聞記事を基に作成された読み物教材の活用については、課題の一つである読解力の向上につながるものと考えています。昨年度、試験的に「@スタ学習帳」をCBT化してEILSに組み込みました。児童生徒は、1人1台端末を活用して容易に学習することができ、教員は、瞬時に配付・回収・採点が可能となるため、業務負担縮減にもつながるとの声を多くいただきました。地域的话题を中心とした新聞記事を基に作成されており、活用が進むことで、記事への興味・関心が高まり、新聞に触れる機会の確保にもつながります。全国学力・学習状況調査結果によると、新聞を読む児童生徒ほど学力が高い傾向にあることが分かっていますので、朝学習や小テスト、宿題・課題、自主学习等において、ぜひ御活用ください。

不登校児童生徒の学習機会の確保について

令和4年度の県内小・中学校における不登校出現率は、全国で低い水準にあるものの、その人数は過去最高の2,728人となるなど、全国同様に増加傾向にあります。これまで県教育委員会では、個々の状態やニーズに応じた支援を充実させるため、不登校の状況を3つの類型「①登校できるが教室に入れられない児童生徒」「②登校できないがフリースクール等には通える児童生徒」「③自宅から出られない児童生徒」に分け、校内サポートルーム

ふんわりスケッチ

No.475

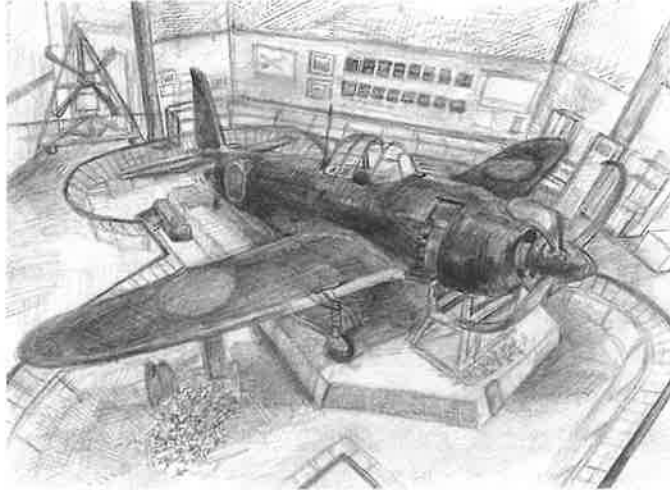
久良湾を望む



宇和島市立城東中 教諭 尾崎 洋美

を今でも思い出す。当時祖父が見た景色は、どんなものだったのだろう。紫電改は恒久平和のシンボルとして、美しい愛南町の景色を望み、今でも静かに私たちに語り掛けている。

愛媛の最南端、愛南町では日本で唯一紫電改が展示されている。ゼロ戦に代わる新鋭機として開発された戦闘機だ。紫電改が引き上げられた当時に、私はまだ生まれていない。しかし、高校生の時に倒れた祖父が、「空襲警報が」と繰り返してうなされていた姿



閔 健二様	90歳	伊予郡砥部町高尾田五	5・12・18
小松 宗治様	93歳	南宇和郡愛南町城辺乙三四一	6・1・27
竹崎 惠美様	96歳	西予市三瓶町朝立一六六一六	6・1・27
末廣 通男様	91歳	松山市北土居一丁目一五〇	6・2・6
門屋 睦夫様	98歳	松山市石手四丁目七八	6・2・19
篠原 文也様	91歳	西条市丹原町池田三五一五	6・3・5

文教俳句

一俳句ポストより一

遍路旅道後はぬくし人も湯も 梅香る一日鼓を打ちにけり	青森県 加藤 次男
掃くことを拒み山茶花散り続け 孫と来て春のおぼろの道後の湯	宇和島市 水田 勲
辰年の水神迎ふ年新た 語り合ふ未来予想図成人日	東温市 戒能 多喜
アリー一匹半紙の上を右ひだり いざゆかん握るは懐炉と受験票	内子町 森 明久
	松山市 池田 容子
	松山市 池田 容子
	松山市 遠藤 節子
	松山市 三谷 美貴

第52回 愛媛県教育会俳句募集

協賛 愛媛県学校生活協同組合連合会

一 募集期間 令和6年8月13日(火)～11月15日(金)

一般の部

◇応募資格 県内在住の成人

◇投句数 雑詠一人2句まで

※二重応募不可(各種大会への投句及び新聞紙上や句会での発表句は不可)

◇応募方法

【郵送】はがきに、俳句・住所・氏名・電話番号を楷書で記入後投函。

【メール】本教育会ホームページ掲載の様式に入力後メールにて送付。

ジュニアの部

◇応募資格 県内の小・中学生

◇投句数 一人1句(二重応募不可)

◇応募方法

【メール】学校で様式を本教育会ホームページ(お知らせ・俳句の募集<https://ehime-kyouikukai.main.jp/oshrase/haku/j>)よりダウンロードし、入力後、メールにて送付。

二 応募先

〒790-8545 松山市祝谷町一丁目5-33 愛媛県教育会 俳句募集係

三 表彰・発表

◇特選2句、優秀・佳作若干句。

◇一般の部 特選・優秀句に賞状・記念品、佳作に賞状を贈呈。

◇ジュニアの部 入選者に賞状・記念品を贈呈。

◇入選句は、「愛媛文教月報2月号」、本会ホームページ等に掲載。

なお、一般の部で入選されなかった方への通知は行いません。

四 備考 応募俳句は有季定型句とする。

Mail: info@ehime-kyouikukai.jp



つながるいのち

つながり合い、支え合う自然界。美しい自然と生き物たちの写真が、私たちにできることは何かを問いかけてくるような写真絵本です。



学びのチカラで人と社会を未来へつなぐ 教育出版

積立年金制度

明治安田生命は、みなさまのよりよいコミュニケーションづくりに全力をつくしてまいります。

(制度引受幹事会社)

明治安田生命

四国公法人 営業推進部 〒760-0017 高松市番町1-7-5 TEL087-821-6811